

手足の不自由な子どもたち

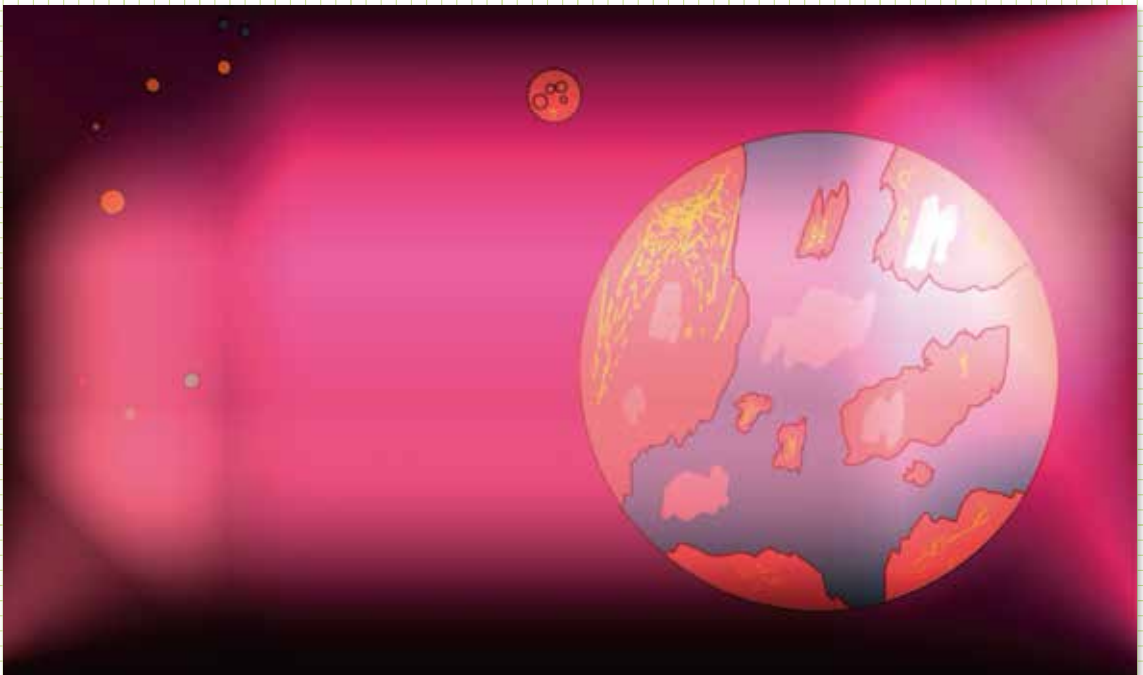
はげみ

令和7年度/No.421

4/5

Apr. — May

特集 特集／ミラコン2024
～未来を見通すコンテスト～
第7回プレゼンカップ全国大会特集号



第43回（令和6年度）肢体不自由児・者の美術展入賞作品「未知の惑星N-150k」
長屋 幸杜



はげみ

令和7年度 / No.421

4/5

Apr. - May

特集 ミラコン 2024 ~未来を見通すコンテスト~ 第7回プレゼンカップ全国大会特集号

目次 Contents

広場	ミラコンを実施すること.....	島添 聡	2
Sec.1	ミラコン2024~未来を見通すコンテスト~ 第7回プレゼンカップ全国大会 FINAL STAGE.....		4
Sec.2	ミラコン2024~第7回プレゼンカップ~ FINAL STAGE 発表作品.....		10
Sec.3	ミラコン2024~第7回プレゼンカップ~ 地区大会について (概要).....		31
Sec.4	特別交流会..... ~決勝7人のオンライン交流会の様子~		41
コラム1	NEXT STAGE.....		45
コラム2	高等部生の皆さんに贈る「ミラコン挑戦のススメ」..... ミラコンに挑戦する生徒を応援する教師のためのサポートガイド	田村 康二郎	50
今号の表紙	長屋 幸杜	54

広場

ミラコンを実施するようになり

全国特別支援学校肢体不自由教育校長会 会長

東京都立光明学園 統括校長

島添 聡

大会の概要

令和6年12月11日(水)に心身障害児総合医療療育センター療育研修所を会場に、「ミラコン2024」未来を見通すコンテスト「第7回プレゼンカップ全国大会」ファイナルステージを開催いたしました。

全国を7ブロックに分け、予選を勝ち進み、地区の代表として7名の生徒が、それぞれの在籍する学校からオンラインでつなぎ、自分の考えをプレゼンテーションしました。プレゼンテーションソフトの活用や画像・動画・生徒等の音声等を入れるなど、各応募者が考え創意工夫をし、5分以内に編集した動画により審査をするものです。

ファイナルステージでは、代表となった生徒の熱意と創造性が存分に発揮され、審査員のみならず観客の皆さんにも大いに感動を与えました。各ブロック予選の様子とファイナルステージの様子は、このあと紹介します。是非、ご一読ください。

本大会の創設の思いは、本誌「はげみ」令和4年4/5月号で紹介されています。第7回目を迎えた本大会は、これまで使用していた会場の改装のため、初めて心身障害児総合医療療育センター療育研修所をお借りしました。本大会の創設時の熱い思いと、全国の肢体不自由児施設の発祥となった場所で実施できたことは、意義深いものです。日本肢体不自由児協会には第1回大会から協賛をしていただいております。また、本誌「はげみ」に大会特集をしていただいております。また、第6回大会からは共催となり、運営面でも多大なご支援をいただいております。

大会の魅力

本大会の魅力の一つには、全国の高等部生徒のプレゼンの様子が直接感じられるということです。肢体不自由特別支援学校の準ずる教育課程で学ぶ生徒数は限られるため、自分の所属する学校だけでは、生徒同士の意見交換の際に一定の枠組みから広げることが多いです。本

大会のブロックごとの予選会及びファイナルステージを通して、全国の生徒の考えや表現方法を知ることができます。

応募した生徒にとっては、自分の考えたアイデアと表現方法について、審査員から講評をいただけます。このことは、学校の先生以外の大人から評価をいただけることであり、大会終了後も次につながるステップになるもので励みになります。

また、長距離の移動に困難がある肢体不自由の生徒にとって、学校に居ながらにしてリアルタイムに全国の7つの地区とつながることは、他ではできない経験になります。

期待される効果

高等部では、基礎学力を身に付けることはもちろんですが、高等部卒業後の生活を見据え、教科以外の学習でも、さまざまな経験をすることにも重点を置いています。小学部や中学部で取り組んでいた身近なことを中心とした調べ学習は、高等部になると地域や社会の仕組みに関するテーマにステップアップし、探求的な学びが求められます。本大会のプレゼンテーションのテーマを考えるプロセスが、まさにこのことを具現化したものです。テーマを表面的に説明しただけの発表では、説得力に乏しくなり共感を得ることは難しいです。テーマを設定した理由を述べ、課題を分析し、対応策について分かりやすく伝える必要があります。説明する画面構成を考え、言葉を吟味し、限られた時間の中で語らなければなりません。これは、言語能力の向

上に寄与するものです。

また、応募した生徒を指導した教員にとっても、生徒のアイデアの芽を取り上げ、形となるように整理し、応募に向けて生徒と共により良いテーマ設定とそれに沿った発表とする過程で、探求的な学びに取り組むことになります。ファイナルステージに進むことができなくても、プレゼンテーションを作成し応募したということで、達成感を感じることができます。同時に、応募した生徒の成長を感じるようになります。

応募したいと思った生徒の皆さん、生徒に応募を勧めようと思った保護者の皆さんや先生方に向けて、ミラコン実行委員会からメッセージがあります。是非、今号の最後まで読み進めて、ミラコン挑戦のススメとサポートガイドを見てください。次回大会への応募をお待ちしています。

おわりに

このような素晴らしい大会が継続しているのは、応募してくれた生徒の皆さん、校長先生をはじめ指導していただいた先生方、そして、全ての関係者の方々の理解と協力が大きな力となっています。改めて感謝申し上げます。

今後とも全国特別支援学校肢体不自由教育校長会は、これからも生徒たちが自らの可能性を最大限に発揮できる本大会をできる限り継続し、関係機関と連携しながら、未来を担う人材の育成に努めてまいります。